

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和5年度取組結果】

団体名	皿倉登山鉄道株式会社
-----	------------

所管課	都市ブランド創造局 観光課
-----	---------------

団体に対するミッション
本市の代表的な観光地の一つである皿倉山山頂への唯一の公共交通手段である皿倉山ケーブルカー等を運行することで、産業観光や夜景観光の集客など皿倉山周辺地区への本市の観光戦略の一翼を担う。

行財政改革大綱における見直し内容
今後も、平成22年度に策定した「経営改善計画」に基づき、健全経営の維持に努める。

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	着実な経営改善に取り組む。
-------------	---------------

主な成果指標	R1	R2	R3	R4	R5		R6	R7
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
当期純利益	2,849千円	4,534千円	△4,101千円	10,997千円	黒字	1,278千円	黒字	/
純資産	90,413千円	94,947千円	90,845千円	101,842千円	増加	103,121千円	増加	
長期借入金	46,100千円	46,100千円	41,000千円	35,900千円	市借入金の確実な返済	30,800千円	市借入金の確実な返済	

ミッションの遂行状況の評価（令和5年度）

団体における評価	令和5年度の輸送人員は、天候不良や酷暑などで夏期までは低調だったが、秋期以降は紅葉鑑賞客の増加や外国人観光客の回復などにより好調に転じたため、当期純損益は、少額ながらも黒字を達成できた。	市の評価	本年度は、春季は天候不良、夏季は酷暑によって運行率は低調だったものの、秋季以降は紅葉鑑賞客が通に及んだことや、本市との共同事業等に取り組んだ結果、2年連続の黒字となった。これは、当団体の積極的な取り組みの結果であると評価できる。
今後の課題及び見直し内容（案）		団体への改善指導内容（案）	

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に経営状況を注視する団体
平成22年度に策定した「経営改善計画」に基づき、健全経営の維持に努めている。本市、関係団体との共同事業等を実施し増収対策に努め、令和5年度は2年連続の黒字となった。	

ミッションに基づく具体的取組み（令和5年度）

目的（目指す状態）		活動計画（どうやって目的を達成するか）									
着実な経営改善に取り組む。 ①黒字経営の確保 ②純資産の増 ③市借入金の返済		・夜間運行の継続的な実施、魅力あるイベントの開催、市夜景観光施策等との積極的な連携などにより、ケーブルカー・スロープカー利用者の拡大を図る。 ・市が集客促進に向け整備する山頂展望台のトイレ改修や山上駅の耐震工事を踏まえ、展望台レストラン運営事業者を公募して、レストラン運営の新たな展開を図る。 ・運輸安全マネジメントの強化によって、お客様により安全・安心なサービスを提供する。									
1	成果指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	活動指標	R3年度実績	R4年度実績	R5年度目標	R5年度実績	
	① 当期純利益	△4,101千円	10,997千円	黒字	1,278千円	① ケーブルカー利用者数	224,367人	291,446人	200,000人	237,286人	
	② 純資産	90,845千円	101,842千円	増加	103,121千円	② 借入金返済額	5,100千円	5,100千円	5,100千円	5,100千円	
	③ 長期借入金	41,000千円	35,900千円	市借入金 の確実な 返済	30,800千円	③ ケーブルカー・スロープカー無事故運行	事故発生件数ゼロ	事故発生件数ゼロ	事故発生件数ゼロ	事故発生件数ゼロ	